はじめに

この度は弊社のWX01UTをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本製品の各機能を正しくお使いいただくために、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みになり、本電話機を正しくお取り扱いください。また本書は大切に保管してください。
本取扱説明書では、本製品の機能および操作をより視覚的に説明するために、ディスプレイの表示画像や図を使用しています。

本書内の画面表記は一例です。実際の画面とは異なる場合があります。また本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本取扱説明書では、 使用上の注意とヒントに以下のマークをつけています。

注　意：製品に大きな影響を与える可能性のある通常操作に対して特に説明を行い、注意すべき事柄を記載します。

ヒント：本製品をより便利にお使いいただくための事柄を記載します。

本取扱説明書に記載の会社名・商品名は各社の登録商標または商標です。

Doc version : 8810049806.1107

目 次

はじめに
安全にご使用いただくために …… 6
パスワード …… 16
製品及び付属品の確認 …… 17
製品仕様 …… 18
製品の名称と機能 …… 19
待機画面表示の説明 …… 20
文字入力方法 …… 21
漢字を入力する …… 21
平仮名・カタカナ・半角カタカナを入力する …… 21
大文字・小文字の英数を入力する …… 21
記号を入力する …… 21
絵文字を入力する …… 22
コード入力する …… 22
文字を修正する …… 22
文字を消去する …… 22
文字配列 …… 22
電池の取付け …… 23
電池の充電 …… 24
ボタン操作の説明 …… 25
メニュー画面での基本操作 …… 25
電源オン / オフ …… 25
電話をかける …… 26
通常での使用 …… 26
電話をうける …… 26
着信拒否 …… 26
通話中の操作 …… 26
マナーモード …… 27
キーロック …… 27
安全運転モード …… 27
その他待受け状態でのショートカット …… 27
確認 …… 27
不在着信 …… 27
アラーム …… 28
カレンダー …… 28
新着ライトメール …… 28
メニュー …… 28
電話帳 …… 29
電話帳検索 …… 29
新規登録 …… 30
グループ別 …… 31
選択削除 …… 32
全件削除 …… 32
短縮発信登録 …… 32
登録件数 …… 33
メール …… 34
ライトメール作成 …… 34
送信 …… 34
保存 …… 35
受信 BOX …… 35
表示 …… 35
返信 …… 35
削除 …… 35
全件削除 …… 36
選択 …… 36
保護設定／保護解除 …… 36
コールバック …… 36
ソート …… 37
送信 BOX …… 38
表示 …… 38
削除 …… 38
全件削除 …… 38
転送 …… 38
選択 …… 39
保護設定／保護解除 …… 39
ソート …… 39
未送信 BOX …… 40
編集 …… 40
削除 …… 40
全件削除 …… 41
ソート …… 41
保護設定／保護解除 …… 41

目 次

設定 …… 41
定型文 …… 42
編集 …… 42
削除 …… 42
メモリ状態 …… 42
送達確認音 …… 43
通話履歴 …… 44
不在着信 …… 44
表示 …… 44
電話番号取得 …… 45
ライトメール作成 …… 45
削除 …… 45
全件削除 …… 45
着信履歴 …… 45
発信履歴 …… 46
通話時間 …… 46
音 / バイブ設定 …… 47
標準 …… 47
マナー …… 49
カスタマイズ …… 49
設定 …… 50
日付と時刻 …… 50
日時 …… 50
時刻モード …… 50
時間表示 …… 50
画面設定 …… 51
壁紙 …… 51
テーマ …… 51
ダイヤルフォント …… 52
起動メッセージ …… 52
バックライト …… 52
コントラスト …… 52
通話設定 …… 53
応答方式 …… 53
着信禁止タイム …… 53
通知不可能拒否 …… 54
発信者番号非通知 …… 54
端末設定 …… 54
自番号 …… 54
言語 …… 54
自動キーロック …… 55
オートパワー …… 55
パスワード …… 56
完全消去＋初期化 …… 56
安全運転設定 …… 57
リモート設定 …… 58
パスワード …… 58
メールロック …… 58
着信ロック …… 59
メールアクセス番号 …… 59
着信アクセス番号 …… 59
ライトメールからリモート設定を操作する方法 …… 60
電話機から電話してリモート設定を操作する方法 …… 61
ツール …… 62
アラーム時計 …… 62
カレンダー …… 63
今日のメモ …… 63
新規追加 …… 64
全てのメモ …… 65
日付選択 …… 65
電卓 …… 65
レコーダ …… 66
録音開始 …… 66
録音データ …… 67
再生音量 …… 67
世界時計 …… 67
製品のメンテナンス …… 68
故障の診断 …… 69
お問合せ先 …… 70

安全にご使用いただくために

安全にお使いいただくために必ずお読みください。

この「安全にご使用いただくために」には、本機を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい内容を記載しています。

次の表示区分は、表示内容を守らず誤った使用をした場合に生じる危機や損害の程度を説明しています

表示の説明

	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが予想されている内容」を示しています。
	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容は物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

・重傷とは失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

・傷害とは治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

・物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

図記号の説明

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	強制（必ず実行していただくこと）を示します。
プラグを外す	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

免責事項

地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不可能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

取扱説明書の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

当社が関与していない接続機器、ソフトウエアとの組み合わせによる誤作動から生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

電話番号やアドレスなど大切なデータは、紙などに保存・記録することをお勧めします。

万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や傷害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本取扱説明書の記載内容とご購入頂いた製品とで不一致があった場合は、製品側が正しいものとしてください。
本取扱説明書の最終的な解釈については、当社側がその権利を有するものとします。
本取扱説明書の内容を予告なく変更する場合があります。
製品の技術仕様を予告なしに変更する場合があります。

本機、電池、充電器共通

本機、電池、充電器それぞれにも注意事項の記載があります。必ずお読みになり記載事項をお守りください。

必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用すると破裂、発火、火災、漏液の原因になります。

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしないでください。破裂、発火、火災、発熱の原因になります。

引火性ガスや油煙が発生する場所では使用しないでください。ガスに引火し、破裂・発火・火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火性ガスが発生する場所では電源を切り、充電しないでください。

火の中に投入したり、加熱しないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因になります。

火のついた葉巻やタバコのそばに置かないでください。

本機や充電器、電池を幼児の玩具にしないでください。

加熱用機器（電子レンジなど）や高圧容器に入れないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因になります。

分解・改造・修理はしないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電・けがの原因になります。PHS の改造は電波法違反になります。故障の場合は、ウィルコムサービスセンターまたはユーティースターコムサポートセンターまでご連絡ください。

導電性物質（金属片・鉛筆の芯など）を接続端子に接触させたり、内部に入れたりして接続端子をショートさせたりしないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電の原因となります。

高所からの落下、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

使用中に発煙・異臭・異常音などの異常が起きたら直ちに使用を中止してください。異常が起きた場合は電源を切り、電池をはずしてウイルコムサービスセンターまたはユーティースターコムサポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

指定以外の電源電圧は使用しないでください。火災や感電などの原因になります。専用の充電器を正しく使用して下さい。海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。

通電状態で接続端子に手や指など身体が触れないようにしてください。感電やけがの原因になります。

水などの液体にかけないでください。また、液体が直接かかる場所や湿気の多い場所（例：風呂場・サウナ）での使用、濡れた手での使用はしないでください。感電や電子回路のショートの原因となります。

水に濡れたり、落下したり、破損させたりした場合などはそのまま使用しないでください。万が一動作に異常が見られる場合はウィルコムサービスセンターまたはユーティースターコムサポートセンターまでご連絡ください。

乳幼児の手の届くような場所には置かないでください。けがなどの原因となります。

直射日光の当たる場所（自動車内・家屋・マンションなど）、極端に低温になる場所、湿気のある場所・ほこりの多い場所に保管しないでください。破裂、発火、火災の原因となります。

注意

安定しない台の上や傾いた所など、ぐらつくような場所に置かないでください。落下した場合など怪我の原因となります。また本機のバイブレータが動作した場合、振動で落下することがあるためご注意ください。

充電器から電源が供給されている状態の本機・電池・充電器に長時間触れないでください。低温やけどの原因となります。

本機について

共通の注意事項（本機・電池・充電器）についても記載があります。必ずお読みになり記載事項をお守りください。

危険

自動車・バイク・自転車などの運転中に本機を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・バイク運転中の PHS の使用は法律で禁止されています。

自動車内で使用される場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行できない場合があるため、その時は使用しないでください。

本機のメインディスプレイ部は落下等の強い衝撃や過重に無理な力を加えると、破損することがあります。

万が一、破損した場合は、破損箇所への手や足などの身体の一部を触れないでください。けがの原因となります。破損してしまった場合はそのまま使用せずウィルコムサービスセンターまたはユーティースターコムサポートセンターまでご連絡ください。

航空機内では、電源はお切りください。航空機内での PHS の使用は法律で禁止されております。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器の近くでの PHS を使用される場合は、電波により装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ってください。

１、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方は、PHSを心臓ペースメーカなどで装着部から２２ｃｍ以上離して携行および使用してください。

２、満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカ、植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、PHSの電源を切るようにしてください。

３、医療機関の屋内では以下のことを注意してください。
・手術室・集中治療室（ＩＣＵ）・冠状動脈疾患監視病室（ＣＣＵ）にはPHSを持ち込まない。
・病棟内では、PHSの電源を切る。
・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、PHSの電源をきる。
・医療機関が個々に使用禁止・持込禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

４、医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカおよび植込み除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

心臓ペースメーカ・火災報知機・自動ドアなど高精度な電子機器の近くでは電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。医用電子機器をお使いの場合は、機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。

通話・メールなどするときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

雷鳴が聞こえてきた場合は、直ちに本機の使用を中止してください。落雷・感電の原因となります。本機の電源を切って、安全な場所へ移動してください。

警告

雨天・降雪中・海岸・水辺などで使用する場合の水ぬれや湿気、身に付けている場合は汗による湿気にご注意ください。感電や電子回路のショートの原因になります。

本機の落下や本機に無理な力がかかったことにより本機が破損または内部が露出した場合、その部分に接触しないでください。感電したり、けがをすることがあります。
そのまま使用せずにウィルコムサービスセンターまたはユーティースターコムサポートセンターまでご連絡ください。

心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面をみていると、筋肉のまひや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前にかならず医師と相談してください。また強い刺激を受けた場合は、本機の使用を一時中止してください。

通常時はUSB端子カバーをはめた状態で使用してください。感電や電子回路のショートの原因となります。

⚠注意

ハンドストラップなどを持って本機を振り回さないでください。けがの原因となります。

キャッシュカードやフロッピーディスク等の磁気を帯びた記録媒体や電子機器、金属製品を近づけたりしないでください。磁気データの消失の原因となります。

ディスプレイ部に挟んである保護シートは、はずしてから使用してください。

皮膚に異常を感じたら直ちに使用をやめ、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

耳を刺激するような大音量で長時間続けて使用しないでください。音量を上げたままでスピーカーに耳を近づけないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

後ろポケットに本機を入れたまま座らないでください。また、無理な力がかかるような場所に入れないでください。破損・故障の原因となることがあります。

本製品に塗装を施したり、絵を描いたり、デコレーションしないでください。

エアバッグの上またはエアバッグが膨張するときに接触する恐れのある場所に本機を置いたり設置したりしないでください。エアバッグが膨張したときに重大な怪我を引き起こす恐れがあります。

電池について

共通の注意事項（本機・電池・充電用機器）についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠危険

電池の（＋）と（−）をショートさせないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。電池がショートし、過大な電流が流れ、破裂・発火・発熱の原因となります。

電池を本機に装着するときは（＋）（−）を逆にしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず接続部を十分にご確認ください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりその他強い衝撃を与えないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。

分解・改造をしたりしないでください。また直接に半田付けなどしないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、破裂・発火・発熱の原因となります。

漏液したり、異臭がするときは直ちに使用を中止してください。また万一近くに火気がある場合は、火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、破裂・発火の原因となります。

警告

内部の液が目に入った場合は、こすらずにきれいな水で十分に洗ったあと直ちに医師の治療を受けてください。放置すると失明する恐れがあります。

電池を水やペットの尿などの液体で濡らさないでください。
また、濡れた電池は使用や充電はしないでください。破裂・発火・発熱の原因になります。誤って水などに濡れた場合はそのまま使用せず、ウィルコムサービスセンターまたはユーティースターコムサポートセンターまでご連絡ください。

注意

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合、直ちにきれいな水で十分に洗い流してください。そのまま放置すると皮膚がかぶれたりする原因になります。

所定の時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。電池液もれ、破裂、発火、火災、発熱の原因となります。そういった場合はウィルコムサービスセンターまたはユーティースターコムサポートセンターにご連絡ください。

不要な電池は、一般のごみと一緒に捨てないでください。不要になった電池は端子にテープなどを貼り絶縁してから、ウィルコムプラザ・ウィルコムカウンターなどにお持ちください。お持込できない場合はお住まいの市町村の条例に従って処理してください。

電池の取り付け・取り外しの際に無理な力を加えたり、無理に挿入しないでください。
電池または、電池カバーが破損するなどし、怪我の原因となります。

電池を口に入れないでください。誤って飲みこんでしまうと、電池内部の電解液によって中毒が引き起こされる恐れがあります。

充電器について

共通の注意事項（本機・電池・充電用機器）についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。

危険

所定の時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。電池液もれ、破裂、発火、火災、発熱の原因となります。ウィルコムサービスセンターまたはユーティースターコムサポートセンターにご連絡ください。

雷が鳴り出したら充電器に触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

警告

指示以外の電源電圧で使用しないでください。発火、火災、発熱、感電などの原因となります。

充電器をコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリなどを接触させないでください。発火、火災、感電、けがなどの原因となります。

プラグを外す

充電以外には、充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
差込が不完全な場合、発火、火災、発熱、感電の原因となります。

充電器の電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込んでください。
差込が不完全な場合、発火、火災、発熱、感電の原因となります。

水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱、発火、火災、感電、ショートの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

充電中は布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。発火、火災の原因となります。

たこ足配線などのコンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。、発火、火災、発熱の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、たばねたままで使用したり、圧力をかけたまま使用しないで下さい。また、痛んだ電源コードは使用しないでください。
発火、火災、感電、ショートの原因となります。

手入れをする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れすると感電やショートの原因となります。

電源プラグについた埃はふき取ってください。そのまま放置すると発火や火災の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くときには、必ず電源プラグを本体から持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると電源コードが損傷し、発火、火災、感電の原因となります。

パスワード

パスワードを必ず確認してください。お買い上げ時は「888888」が設定されています。お客様の必要に応じてパスワードを変更することができます。
パスワードを万が一お忘れになった場合は、本機とウィルコムの申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書（顔写真の入ったもの）を御用意のうえ、ユーティースターコムサポートセンターまでご連絡いただくことになりますのでご注意ください。（預かり修理・有償修理）

製品及び付属品の確認

下記の物が同梱されています。

・WX01UT 本機　1台

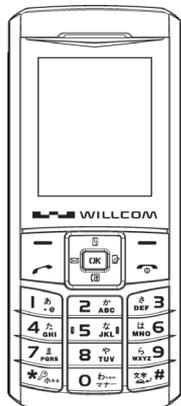
・充電器

・電池

・本書（取扱説明書）

万一梱包内容に不足がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
本書の内容については万全を期してはおりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

ご注意：製品のロットにより、一部外観が若干異なる場合があります。ご了承くださいますようお願いします。

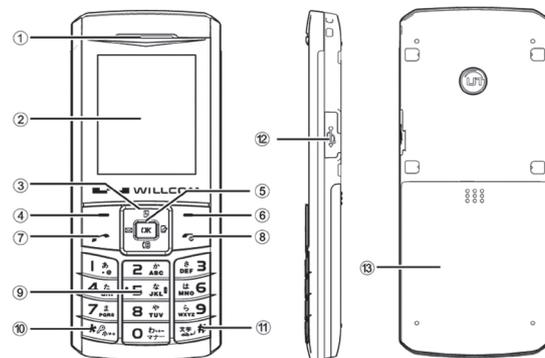
製品仕様

寸法	107mm(高さ) × 45mm(横) × 9.9mm (厚さ)
重量	約 60 グラム
電池	Li-ion 電池 DC 3.7 V 780mAh
充電器	Input：100-240V 0.5 AMAX 50-60Hz Output：5.V 0.5A
充電時間	約 3.5 時間（電源 Off 状態）
待受け時間	約 600 時間
連続通話時間	約 7 時間

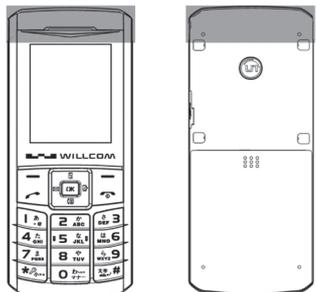
ご注意

待受け時間とは、電源を起動した状態で通話しない・移動しない状態で連続作動する時間を言います。ネットワークの状況や待受けモードにより、その時間が変わります。

・連続通話時間とは、連続通話状態で作動する時間を言います。ネットワークの状況、使用環境により、その時間が変わります。
　電池の利用可能時間は連続使用時間、ネットワーク状況、電話機の使用状況、待受けモード及び使用環境により変わります。

以下のケースは電池を消耗することがあります。
電波が弱く、低温、高温、通信エリア以外での使用など。
信号が極端に弱く、高速移動中信号を受信できない場合、ネットワークを頻繁にサーチ又は切り替える場合。
長時間通話又は長時間のライトメールの利用。
連続バックライトオン、継続的なアラーム、着信音マックスレベルの状態。

製品の名称と機能

1	受話口（レシーバ）	通話中に相手の話が聞こえます
2	ディスプレイ	情報を表示します。
3	マルチファンクションキー	メニュー選択、ライトメール、通話履歴、音/バイブ、電話帳；カーソルの移動
4	左ソフトキー	機能メニューを呼び出すときや、ディスプレイ左下に表示している機能を実行します。
5	OKキー	機能を選択する場合に用います。
6	右ソフトキー	ライトメール機能を呼び出すときや、ディスプレイ右下に表示している機能を実行します。
7	通話ボタン	電話をかけるときに使います。
8	電源ボタン/ 通話終了ボタン	長押しすれば電源オンオフ 通話時は電話を切る 機能操作時には操作を中止し待受画面へ戻る
9	ダイヤルボタン	電話番号と文字入力 [0 わ マナー]ボタンを長押しすれば、マナーモードON/OFFにします。
10	＊ボタン	長押しすればキーロックを設定/解除します。
11	＃ボタン	待受け状態で長押しすれば安全運転モードを設定します。文書編集状態で、短押しで改行、長押しで文字モードを切り替えに利用します。
12	外部接続カバー	充電、電話帳転送時にカバーを開けて専用端子を接続します。
13	電池カバー	電話機の電池を固定・保護します。

本機のアンテナは内蔵式であり、レシーバー（受話口）に位置するので、アンテナの感度を保つために、アンテナエリアに手を触れないようお願いします。（アンテナエリアは下図グレー部で示されています）

以上、ボタンのファンクションについて簡単に紹介しました。詳細は本取扱説明書の関連部分をご確認お願いします。

待機画面表示の説明

アイコンの説明を右に示します。

	電波状況 バーが少ないと電波が弱く、バーが多いと電波が強いことを示します。
	通話中
	新着ライトメールあり（はメール BOX が一杯になっていることを示します）
	安全運転モードを起動した後、メッセージ録音があることとを示します。
	ネットワーク側にボイスメールまたはメッセージがあることを示します。
	キーロック起動
	着信音モード
	ミュート
	バイブレーションモード又はマナーモード
	バイブレーション+着信音モード、又はバイブレーション後着信音モード
	アラーム機能起動
	安全運転モード起動
	電池レベル 電池のメモリが無いまたは少ない場合は充電が必要です。

文字入力方法

文字を入力する方法を説明します。
①を2秒以上長押しします。
②入力したい文字種をマルチファンクションキー の上下で選択します。
③マルチファンクションキー中央を押して、文字種選択が完了になります。
④文字種を変更したい場合は、再度 を2秒以上長押しします。

漢字を入力する

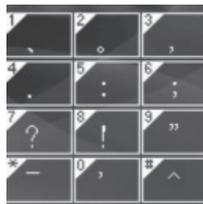
①漢字かなモードにします。
②文字を入力します。
③マルチファンクションキー を操作し、予測変換エリアから漢字を選択します。
④マルチファンクションキー 中央の を押して、選びたい文字を確定します。

平仮名・カタカナ・半角カタカナを入力する

①平仮名、カタカナそれぞれ入力したいモードにします。
②文字を入力します。
③マルチファンクションキー を操作し、予測変換エリアから文字を選択します。
④マルチファンクションキー 中央の を押して、選びたい文字を確定します。

全角・半角の英数を入力する

①入力したい文字モードにして入力します。

記号を入力する

①?＆モードにします。
②入力できる記号が表示されます。
マルチファンクションキー で選択したい記号の表示されてあるページに移動します。
④入力したい記号の番号のキーボタンを押します。
⑤記号が入力されます。

絵文字を入力する

①絵文字モードにします。
②マルチファンクション キー で絵文字を選択します。

③左ソフトキーを押して絵文字を入力します。
搭載されている絵文字は、本機で確認してください。

コード入力する

SJIS コードを入力して文字を表示します。
①任意の４桁の数字を入力します。
②マルチファンクションキー の左右で修正したい桁にカーソルを合わせます。
③マルチファンクション キー の上下で０～9、A～Fまでの文字を選びます。

文字を修正する

①修正したい文字をマルチファンクション キー で選択します。
②右ソフトキー （クリア）を押して文字を消去します。
③文字を再入力します。

文字を消去する

①修正したい文字をマルチファンクション キー で選択します。
②右ソフトキー （クリア）を押して文字を消去します。

文字配列

各キーに配列されている文字を示します。
濁点、句読点、長音のキー配置を確認して文字入力してください。

キー	漢字/ひらがな	カタカナ	半角カナ	全角英文	半角英文	数字全角	数字半角	記号
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	1、。@：；？！ ＊＃“”～／％ ＆（）＜＞＄＋ －＝＿￥{}「」 ［］＾｜	1,.@:;?!*#"'`~/% &()<>$+- =_¥[]{}^|	1	1	記号入力
2	かきくけこ	カキクケコ	ｶｷｸｹｺ	abcABC2	abcABC2	2	2	記号入力
3	さしすせそ	サシスセソ	ｻｼｽｾｿ	defDEF3	defDEF3	3	3	記号入力
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	ghiGHI4	ghiGHI4	4	4	記号入力
5	なにぬねの	ナニヌネノ	ﾅﾆﾇﾈﾉ	jklJKL5	jklJKL5	5	5	記号入力
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	mnoMNO6	mnoMNO6	6	6	記号入力
7	まみむめも	マミムメモ	ﾏﾐﾑﾒﾓ	pqrsPQRS7	pqrsPQRS7	7	7	記号入力
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	tuvTUV8	tuvTUV8	8	8	記号入力
9	らりるれろ	ラリルレロ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	wxyzWXYZ9	wxyzWXYZ9	9	9	記号入力
0	わをんゎー、。・！？「」〈〉【】	ワヲンヮー、。・！？「」〈〉【】SP	ﾜｦﾝｰ､｡･!?｢｣〈〉[]SP	0 SP	0 SP	0	0	記号入力
＊	゛゜ 大小文字切替	゛゜ 大小文字切替	ﾞﾟ 大小文字切替	大小文字切替	大小文字切替	n/a	n/a	記号入力
＃（長押し）	文字種切替	文字種切替	文字種切替	文字種切替	文字種切替	文字種切替	文字種切替	記号入力
＃（短押し）	改行	改行	改行	改行	改行	改行	改行	

記号は本機で確認してください。

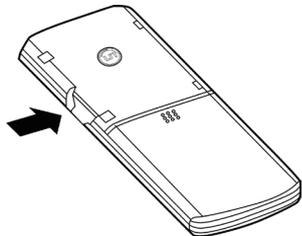
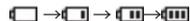
電池の取付け

①携帯待受け状態で，電源ボタン を長押し電源を切ります。
②電池カバーを下方向へスライドさせ、電池カバーを取り外します。

③電池を取り付けます。取り付け方向にご注意ください。

④電池カバーをしっかり取り付けます。
⑤電池を外す場合は、②の方法で電池カバーを外し、電池の下にあるツメの部分から外します。

電池の充電

電池は充電が必要となる時、電池レベルアイコン▭が点滅し、電池レベル低下警告音を発して注意を促します。その間に充電しない場合、自動的に電源をオフします。
次の方法で、電池の充電を行ってください。
①充電器のプラグを家庭用 AC 電源コンセントに差し込みます。
②本機の充電キャップを開け、充電器の出力端子を接続します。
接続時はコネクタの形状を確認して、無理せずに接続してください。

正しく接続できたら、電源がオフになっている状態では、「充電中・・・」とディスプレイに表示されます。また、電源がオンになっている状態では、ディスプレイの電池表示内のレベルラインは以下のように点滅します。
▭→▭→▭→▭

③電池表示の点滅が止まったら、充電完了になります。
ご注意：充電する際、充電器と本機が少し熱を持ちますが問題ありません。

電源オンでの充電時は通常通り電話の発着信とメールの送受信ができますが、電気を消耗するので、充電時間が長引きます。使用面と安全面から、電源オン状態での電話使用は極力避けてください。

本機は長い期間未使用の状態で充電する場合、ディスプレイに表示が出るまで時間を要することがあります。表示されるまでしばらくお待ち下さい。

正規充電器と電池を必ずご使用ください。正規品でない充電器と電池を使用されたことによる危険負担及び修理・交換義務は負いません。

出力電圧が高すぎた場合、本機は保護機能を起動するので充電できなくなります。

ボタン操作の説明

本取扱説明書で言う「xxボタン」と「xxキー」とは、ボタンやキーを押したらすぐ指を離すことを指します。長押しとは、一秒間以上継続的に押すことを指します。
本取扱説明書で、マルチファンクションキー の上下を押すとは、 又は を押すこと、左右を押すとは、 又は を押すことを指します。

マルチファンクションキーを押すとは のいずれかを押すことを指します。

メニュー画面での基本操作

メニューで、マルチファンクションキー の上下左右で機能を選択します。
例えば、メニューを呼び出す場合の操作は
①待受け状態で、左ソフトキーを押します。（機能一覧）

②マルチファンクションキー で、選択したい機能を選択し、左ソフトキー（確定）を押すか、OKキー を押すとメニューに切り替わります。

メニューの頭に“1”、 “2”など数字が付いている場合、対応ダイヤルボタンを押すだけで選択できます。本取扱説明書は基本的にその機能の説明を省略します。左ソフトキーとOKキー が同じ効果の場合、左ソフトキー（確定）の説明のみになります。
操作中、1つ前のメニューに戻るとき、右ソフトキー を使用します。
全ての操作メニュー（削除など中断できない場合を除く）中に電源ボタンを押せば、待受け状態に戻ります。

電源オン/オフ

電源ボタン を長押しすれば、電源はオンオフします。
自動電源オン/オフに設定した場合、設定時間になると、自動的に電源オン/オフを行います（51ページ）
本機は電源オフ状態でのアラーム機能があります。電源オフの状態でも、「電源OFFアラーム」機能を設定（58ページ）すれば、設定された時間になると、アラーム音が鳴ります。
電源オンして待受け状態になってから、本機はデータを読み取りますので、機能を利用できるまで少し時間がかかります。

電話をかける

通常での使用

①相手の電話番号を入力します（番号32桁まで入力可能です）。
番号入力の時、右ソフトキー（クリア）を押せば、カーソル左の内容を削除できます。
②通話ボタンにて発信します。ディスプレイに電話番号が表示されます。
③通話中に右ソフトキー(切る)又は電源ボタンを押せば、通話を終了できます。

電話をうける

電話が掛かってきた時、ディスプレイに着信情報が表示されます。
左ソフトキー又は通話ボタンを押せば、電話を受けられます。
着信時、右ソフトキー（ミュート）又はダイヤルボタン0を押せば、着信状態を維持したまま着信音を切ることができます。

着信拒否

電源ボタンを押すか、右ソフトキー（ミュート)を押してから再度右ソフトキーを押せば着信を拒否できます。

通話中の操作

通話中は下記操作ができます
①録音：通話中に OK キーを押すことで「録音」が開始できます。、左ソフトキー（停止）を押すことで録音を停止できます。録音を停止しても通話は終了いたしません。録音中に左ソフトキー（停止)を押すか2５秒経過するか、いずれかで録音が停止します。記録は自動的に保存されます。

②音量調節:マルチファンクションキーの左右を押せば、音量調節ができます。

マナーモード

待受け状態で O を長押しすれば、マナーモードに入ります。着信、受信した際はマナーモードになり、全ての警告音も鳴らず、ディスプレイにはマークが表示されます。
マナーモードを解除する場合は、もう一度 O を長押しします。

キーロック

キーの誤操作を防ぐために、キーをロックできます。
待受け状態で、* を長押しすれば、キーをロックできます。ディスプレイにが表示されます。
待受け状態でもう一度 * を長押しすれば、キーロックが解除できます。

安全運転モード

待受け状態で#を長押しすれば、安全運手モードにすることができます。ディスプレイにが表示されます。
待受け状態でもう一度#を長押しすれば、安全運転モードが解除できます。

その他待受け状態でのショートカット

待受け状態で、下記キー操作でショートカットできます。

1	左ソフトキー	メニュー
2	右ソフトキー	ライトメール
3	マルチファンクションキー上	通話履歴
4	マルチファンクションキー下	電話帳
5	マルチファンクションキー左	ライトメール編集
6	マルチファンクションキー右	音 / バイブ

確認

不在着信

不在着信があった場合、画面にメッセージが出ます。左ソフトキー（表示）を押せば詳細に切り替わります。確認後待受けに戻ると、不在着信メッセージが消えます。また、右ソフトキー（戻る）を押せば、詳細を確認せずにクリアできます。

アラーム

セットされたアラームの時間になると、アラームメッセージが表示され、アラーム音かバイブが起動します。何れかのキーを押せばアラームを解除し、アラーム起動する前の画面に戻ります。

スヌーズをセットした場合、アラームマークの下に「停止/スヌーズ」選択が表示され、左ソフトキー（停止）で完全に停止し、右ソフトキー（スヌーズ）で残り回数までアラームを継続できます。（59ページ）

カレンダー

カレンダーに予定を設定し、通知をセットした場合、時間になると画面に通知メッセージが表示され、音またはバイブが起動します。左ソフトキー（表示）を押せば、詳細を確認できます。確認後に待受けに戻ると、通知メッセージが消えます。また、右ソフトキー（戻る）を押せば、詳細を確認せずにクリアできます。

新着ライトメール

本機に新着メッセージが届いた場合、画面にそれを知らせる表示とマークが表示されます。左ソフトキー（表示）を押せば、内容を確認できます。確認後待受けに戻ると、アイコンが消えます。また、右ソフトキー（戻る）を押せば、詳細を確認せずにクリアできます。

メニュー

待受け状態で左ソフトキー（メニュー）を押せば、メニューに切り替わります。マルチファンクションキー にて目的の機能にカーソルを移動させ、左ソフトキー（確定）、又はOKキーを押せば、目的の機能メニューに変わります。

電話帳

メニュー⇒電話帳

本機では500件の電話帳保存が可能です。名前、電話番号（1〜3個）、グループ分け情報を含みます。

- 重複登録が可能です。（名前が同じ、或いは電話番号が同じ、更に、名前と電話番号が全部同じでも可能です）
  同じ保存先に同じ名前で違う電話番号の場合、表示順は登録日時・時間順になります。

- 異なる名前で同じ電話番号が登録された場合、電話着信時に、電話帳の中で先になっている名前を表示します。もし電話着信の番号がブラックリストに登録された番号と同じ番号な場合、自動的に着信を拒否することになります。

電話帳検索

メニュー⇒電話帳⇒電話帳検索

文字入力欄に電話帳へ登録されている読み仮名・数字・英語小文字を入力して検索します。電話帳に登録がない場合、「なし」と表示されます。

①入力された言葉に合致する電話帳を呼び出します。検索結果はその都度更新されます。合致しない場合は表示なしになります。

②検索された後に通話ボタンを押せば、そのまま電話発信できます。

③登録した情報を検索できたら、左ソフトキー(確定)を押して詳細情報を確認できます。

④電話帳リスト表示時に、左ソフトキー（確定）にて下記操作ができます。
表　示：登録情報詳細を確認することができます。
編　集：登録情報を編集することができます。
削　除：登録情報を削除することができます。
（入力の仕方は、30ページを参照してください）

ライトメール作成
ライトメールを作成することができます。詳細：34ページ

新規登録

メニュー⇒電話帳⇒新規登録

電話帳へ新規登録を行います。

①マルチファンクションキー の上下で「名前」に入り、名前を入力してから、左ソフトキー (確定)またはＯＫキーを押せば登録されます。名前は最大10文字（漢字・全角ひらがな・全角カタカナ・英数・記号）または20文字（半角カナ・英数）まで入力できます。

②マルチファンクションキー の上下で「ヨミ」に入り、カタカナ半角で読みを入力してから左ソフトキー（確定）またはOKキーを押せば登録されます。ヨミは最大20文字まで入力できます。

③マルチファンクションキー の上下で携帯番号編集項目に行き、ＯＫキーを押して電話番号編集画面に入り、電話番号を入力してから、 左ソフトキー（確定）またはOKキー を押せば登録されます。電話番号は最大32桁まで入力できます。

④マルチファンクションキー の上下で「分計設定」に入り、分計モードをオン・オフするかを決定します。左ソフトキー（確定）またはOKキー を押せば登録されます。

⑤マルチファンクションキー の上下で会社電話番号編集項目に行き、ＯＫキー を押し会社電話番号編集画面に入り、電話番号を入力してから、 左ソフトキー （確定）またはOKキー を押せば登録されます。電話番号は最大32桁まで入力できます。

⑥マルチファンクションキー の上下で「分計設定」モードに入り、分計モードをオン・オフするかを決定します。左ソフトキー （確定）またはOKキー を押せば登録されます。

⑦マルチファンクションキー の上下で自宅電話番号編集項目に行き、ＯＫキー を押し自宅電話番号編集画面に入り、電話番号を入力してから左ソフトキー （確定）またはOKキー を押せば登録されます。電話番号は最大32桁まで入力できます。

⑧マルチファンクションキー の上下で「分計設定」モードに入り、分計モードをオン・オフするかを決定します。左ソフトキー（確定）またはOKキー を押せば登録されます。

⑨マルチファンクションキー の上下でグループ項目に行き、ＯＫキー を押してグループ分け画面に入り、マルチファンクションキー の上下でグループを選択してから、左ソフトキー（確定）またはOKキー を押せば登録されます。グループ分けをしていなければ、共通になります。

⑩最後に左ソフトキー （保存）を押せば登録完了します。

グループ別

メニュー⇒電話帳⇒グループ別

この項目を選択すると、グループ毎に登録された登録名と電話番号が表示されます。マルチファンクションキー の上下でグループ（共通とブラックリストを除く）を選択し、左ソフトキー （メニュー）を押せば下記操作できます。

メンバーリスト

選択したら、グループ全メンバーを表示します。それ以降の操作は29ページ「電話帳」を参考にしてください。
「共通」と「ブラックリスト」が選択された場合、直接左ソフトキー（確定）又はＯＫキー を押せばメンバー情報リストを表示できます。

着信音

選択されたグループごとに専用着信音を設定できます。専用着信音を設定した場合、対象グループの着信音は音/バイブ設定で設定された着信ではなく、この着信音で鳴ります。

リネーム

現在登録されているグループ名を変更します。最大5文字（漢字・全角ひらがな・カタカナ・英数・記号）または10文字（半角カナ・英数）までの名称を登録できます。

選択削除

メニュー⇒電話帳⇒選択削除

①マルチファンクションキー の上下で選択削除したい相手を選択します。

②相手を選択せずに、左ソフトキー（メニュー）を選択すると「全て選択」が表示されます。

③OKキー を押すと、消去したい相手にチェックマークが付きます。（再度OKキー を押せば解除）また、OKキー を長押しすると全部にチェックマークが付きます。

④次に左ソフトキー（メニュー）で削除するか選択解除するかマルチファンクション の上下キーで操作します。

⑤いずれかを選択し左ソフトキー（確定）で決定します。

⑥削除する場合は「削除?」というメニューがでてきます。削除する場合は左ソフトキー（確定）で決定します。取消の場合は右ソフトキー（取消）を押します。

⑦選択解除する場合はひとつ前の画面に戻ります。

全件削除

メニュー⇒電話帳⇒全件削除

電話帳の全連絡先を一括で削除できます。
①左ソフトキー（確定）を押すと「電話帳全削除」メッセージが現れます。

②左ソフトキー（確定）を押すとパスワード入力画面が現れます。

③パスワードを入力し、左ソフトキー（確定）を押すと削除されます。（パスワード入力は52ページを参照してください）

短縮発信登録

メニュー⇒電話帳⇒短縮発信登録

電話番号を短縮番号指定できます。
待受け状態で登録番号キーを長押しすれば、短縮呼び出しできます。
①電話帳から短縮発信登録を選択すると未設定1～6が表示されます。

②未設定1～6のいずれかをマルチファンクションキー で選択し、左ソフトキー（追加）を押し、電話番号入力画面に進みます。

③電話番号を直接入力するか、左ソフトキー（検索）を押して電話帳から登録したい番号を選択してください。

④電話番号を直接入力して、左ソフトキー（確定）を押すと短縮番号が設定されます。

⑤検索から登録したい電話帳を選択します。（検索は29ページを参照して下さい）電話番号が1つの場合は、以上になりますが、電話番号が2つ以上の場合は、次の操作を行います。

⑥短縮登録したい電話帳をマルチファンクション で選択し、左ソフトキー（確定）を押すと登録されている電話番号が表示されます。

⑦短縮登録したい番号をマルチファンクション で選択し、左ソフトキー（確定）を押すと短縮発信登録が完了します。

もし既に登録済みの番号を選択した場合、左ソフトキー（メニュー）を押せば、登録された電話番号を修正するか又は削除できます。

登録件数

メニュー⇒電話帳⇒登録件数

登録件数を選択すると、500件中何件の電話帳を使用しているかの確認ができます。

メール

メニュー⇒ メール

ライトメールの送信、閲覧、編集、保存、削除と保護ができます。

ライトメール作成

メニュー ⇒メール ⇒ メール作成

新しいメッセージを編集できます。（文字入力方法については21から22ページ「入力方法」を参照ください）ライトメールの本文を編集するとき、ディスプレイ左上に数字が表示されます。例えば「50」と表示されている場合、現在編集中のライトメールでは残り50バイト入力できることを意味しています。
ライトメール編集画面で、OKキー（挿入）を押すと、ライトメール本文に挿入する電話帳・定型文・アニメーション絵文字を選択できます。
ライトメール本文の編集が完了したら左ソフトキー（メニュー）を押すと、以下の操作を行うことができます。

注意：本機のメール作成画面では「アニメーション絵文字」ではなく「アニメ絵文字」として表記しております。

送信

作成したライトメールを送信します。
①編集画面が出てきます。送信先電話番号や送信相手を直接入力できます。

②電話帳に登録があれば、左ソフトキー（電話帳）を押すとディスプレイに宛先一覧が表示され、マルチファンクションキーの上下で送信先電話番号を選択します。

③文字入力欄に電話帳に登録された名称を入力して、送信先を検索することができます。

④送信先が決定したら、左ソフトキー（送信)を押すと送信されます。

ライトメールが送信されるとディスプレイに送信成功が通知されます。
ライトメールが送信されなかった場合や相手に届かなかった場合、メッセージ送信失敗の通知とともに「未送信BOX」にメッセージが保管されます。「未送信BOX」でマルチファンクションキーの上下を押して確認してください。未送信BOXにないメッセージは送信に成功したことを意味します。

保存

編集後のライトメールを保存すると未送信BOXへ保存されます。未送信BOXの容量は20件です。未送信BOXにすでに20件のメッセージがある場合は、ディスプレイに「上書き?」と表示されます。ここで左ソフトキー（確定）またはOKキーを押すと未送信BOX内の一番古い未送信メールが上書きされます。

受信BOX

メニュー⇒ メール ⇒ 受信BOX

■受信されたメッセージは受信BOXに保存されます。受信BOXには最大100件のライトメールを保存できます。

受信BOXのメッセージはマルチファンクションキーの上下で閲覧できます。いずれかのライトメールをカーソルで選択した状態で左ソフトキー（メニュー）を押すと、以下の操作を行うことができます。

表示

メッセージ内容と受信時間を表示します。表示中はマルチファンクションキーの左右をスクロールして前後のメッセージを確認できます。この画面でさらに左ソフトキー（メニュー）を選択すると次のメニューに進みます。

返信

選択中のライトメールの送信者に対して返信します。操作については34ページの「ライトメール作成」をご参照ください。

削除

選択中のライトメールを削除します。ライトメールが保護されている場合は、ディスプレイに「保護設定のため削除できません」という通知が表示されるので、「保護解除」操作を行った後で再度削除を行ってください。

全件削除

受信ボックス内のすべてのメッセージを削除します。この機能を選択するとパスワード入力を求めるメニューが現れます。パスワードを入力すると

①非保護データ削除

②全件削除
の2つのメニューが現れます。非保護データ削除は保護されたメッセージ以外はすべて削除します。全件削除は保護・非保護関係なくメッセージ全件を削除します。

選択

マルチファンクションキー の上下スクロールで選択したいメッセージを選びます。
選択する場合は、OKキーを押してください。(もう一度OKキー を押すとマークを解除します)
OKキーを長押しすると受信BOX内のすべてのメッセージにチェックマークがつきます。(もう一度OKキー を長押しするとすべての選択マークが解除する)
選択した後、左ソフトキー (メニュー) を押すと削除・保護設定・保護解除・全て選択・選択解除などを実行することができます。

保護設定／保護解除

選択中のライトメールの保護または保護の解除を行います。マルチファンクションキー の上下でメッセージを選択し、保護していないメッセージを選択すると「保護設定」が選べます。保護しているメッセージを選択すると「保護解除」が選択されます。受信BOXには本体に保存されたライトメールを最大50件まで保護でき、50件に達していた場合、ディスプレイに「最大保護件数になりました」と表示され、本体内のライトメールをこれ以上保護設定にできません。

コールバック

ライトメールの送信者へ電話をかけることができます。ディスプレイに送信者の電話番号が表示されるので、必要に応じて電話番号の編集または修正を行い、通話ボタンを押して電話をかけます。

ソート

受信ボックスのメッセージを以下の内容でソートして表示します。

①日付古い順：受信したメッセージの日付が古い順番で表示します。

②日付新しい順：受信したメッセージの日付が新しい順で表示します。

③電話番号昇順：受信したメッセージの電話番号を昇順で表示します。

④電話番号降順：受信したメッセージの電話番号を降順で表示します。

受信BOXに移動し（受信BOXが空の場合は移動できません）、マルチファンクションキー の上下で閲覧し、OKキーを押すとカーソルが選択しているライトメールの本文を表示できます。表示中はマルチファンクションキー の上下で画面をスクロールしてください。（マルチファンクションキー の左右でひとつ前または次のメッセージの詳細情報を表示できます）

このとき左ソフトキー（メニュー）を押すと、以下の操作を行うことができます：
①**返信**：選択中のライトメールの送信者に返信します。その場合、送信者の電話番号をクリアキーで削除し、新たに宛先に電話番号を入力します。操作については34ページの「ライトメール作成」をご参照ください。

②**転送**：選択中のライトメールを別の宛先に転送します。その場合、送信者の電話番号をクリアキーで削除し、新たに宛先に電話番号を入力します。操作については34ページの「ライトメール作成」をご参照ください。

③**削除**：選択中のライトメールを削除します。38ページの「削除」をご参照ください。

④**電話番号取得**：選択中のライトメールの送信者の電話番号とメッセージ本文中の電話番号を取得します。ディスプレイに取得した電話番号の一覧が表示されるので、左ソフトキー（保存）を押して電話番号編集画面に移動したら、その電話番号に対して編集または修正（電話をかけることもできます）を行います。ディスプレイに表示される指示に従って操作を行い、カーソルで選択している電話番号を電話帳に保存します。

⑤**保護設定／保護解除**：選択中のライトメールの保護または保護の解除については、36ページの「保護設定／保護解除」をご参照ください。

送信BOX

メニュー⇒ メール ⇒ 送信BOX

送信されたメッセージは送信BOXに保存されます。送信BOXは、送信したライトメールを送信日時の順に最大で100件まで本体に保存できます。送信BOXがいっぱいの場合は、保護されていない一番古いライトメールが最新のライトメールで上書きされます。
送信BOXに移動（送信BOXが空の場合は移動できません）すると、ディスプレイに送信日時の順に送信済みライトメールが表示されます。マルチファンクションキーの上下で閲覧し、いずれかのライトメールがカーソルで選択されている状態で左ソフトキー（メニュー）を押すと、以下の操作を行うことができます。

表示

選択中のライトメールの詳細内容を表示します。表示中はマルチファンクションキーの上下で画面をスクロールしてください。

削除

選択中のライトメールを削除します。ライトメールが保護されている場合は、ディスプレイに「保護設定のため削除できません」という通知が表示されるので、「保護解除」操作を行った後で再度削除を行ってください。

全件削除

送信ボックス内のすべてのメッセージを削除します。この機能を選択するとパスワード入力を求めるメニューが現れます。パスワードを入力すると
①非保護データ削除
②全件削除
の2つのメニューが現れます。非保護データ削除は保護されたメッセージ以外はすべて削除します。全件削除は保護・非保護関係なくメッセージ全件を削除します。

転送

選択中のライトメールを別の宛先に転送します。操作については34ページの「ライトメール作成」をご参照ください。

選択

マルチファンクションキーの上下スクロールで選択したいメッセージを選びます。選択する場合は、OKキーを押してください。（もう一度OKキーを押すとマークを解除します）
OKキーを長押しすると送信BOX内のすべてのメッセージに選択マークがつきます。（もう一度OKキーを長押しするとすべての選択マークが解除されます）
選択した後、左ソフトキー（メニュー）を押すと削除・保護設定・保護解除・全て選択・選択解除などを実行することができます。

保護設定／保護解除

選択中のライトメールの保護または保護の解除を行います。マルチファンクションキーの上下でメッセージを選択し、保護していないメッセージを選択すると「保護」が選べます。保護しているメッセージを選択すると「解除」が選択されます。受信BOXには本体に保存されたライトメールを最大20件まで保護でき、20件に達していた場合、ディスプレイに「最大保護件数になりました」と表示され、本体内のライトメールをこれ以上保護設定にできません。

ソート

送信ボックスのメッセージを以下の内容でソートして表示できます。
①日付古い順：受信したメッセージの日付が古い順番で表示します。

②日付新しい順：受信したメッセージの日付が新しい順で表示します。

③電話番号昇順：受信したメッセージの電話番号を昇順で表示します。

④電話番号降順：受信したメッセージの電話番号を降順で表示します。

選択中のライトメールの保護または保護の解除を行います。送信BOXには本体に保存されたメッセージを最大20件まで保護でき、20件に達していた場合、ディスプレイに「最大保護件数になりました」と表示され、本体内のライトメールをそれ以上保護設定にできません。
送信BOXに移動（送信BOXが空の場合は移動できません）すると、ディスプレイに送信日時の順に送信済みライトメールが表示されます。マルチファンクションキーの上下で閲覧し、いずれかのライトメールがカーソルで選択されている状態でOKキーを押すとそのメッセージを表示できます。

表示中はマルチファンクションキー の上下で画面をスクロールしてください。（マルチファンクションキー の左右で送信BOX内のひとつ前または次のメッセージの詳細情報を表示できます）このとき左ソフトキー （メニュー）を押すと、以下の操作を行うことができます。

①**削除：**選択中のライトメールを削除します。38ページの「削除」をご参照ください。

②**転送：**選択中のライトメールを別の宛先に転送します。操作については34ページの「ライトメール作成」をご参照ください。

③**保護設定／保護解除：**選択中のライトメールの保護または保護解除については、39ページの「保護設定／保護解除」をご参照ください。

未送信BOX

メニュー⇒ メール⇒未送信BOX

未送信BOXには最大20件のライトメールを保存できます。未送信BOXがいっぱいな場合には、「上書き？」というメニューが出てきます。上書きする場合は左ソフトキー （確定）で決定します。取消の場合は右ソフトキー （取消）を押します。
未送信BOXに移動すると、ディスプレイに未送信一覧が表示されます。マルチファンクションキー の上下で閲覧し、いずれかのライトメールがカーソルで選択されている状態でOKキー を押すと、未送信の本文の編集ができます。（表示中、34ページの「ライトメール作成」を参照して操作できます）

また、ディスプレイに未送信一覧が表示されている時に、左ソフトキー （メニュー）を押すと以下の操作を行うことができます。

編集

選択中の未送信を編集します。操作については34ページの「ライトメール作成」をご参照ください。

削除

選択中の未送信を削除します。

全件削除

未送信BOX内のすべてのメッセージを削除します。この機能を選択するとパスワード入力を求めるメニューが現れます。パスワードを入力すると
①非保護データ削除
②全件削除
の2つのメニューが現れます。非保護データ削除は保護されたメッセージ以外はすべて削除します。全件削除は保護・非保護関係なくメッセージ全件を削除します。

ソート

未送信BOXのメッセージを以下の内容でソートして表示します。

①**日 付 古 い 順：**受信したメッセージの日付が古い順番で表示します。

②**日付新しい順：**受信したメッセージの日付が新しい順で表示します。

③**電話番号昇順：**受信したメッセージの電話番号を昇順で表示します。

④**電話番号降順：**受信したメッセージの電話番号を降順で表示します。

保護設定／保護解除

選択中のライトメールの保護または保護の解除を行います。マルチファンクションキー の上下でメッセージを選択し、保護していないメッセージを選択すると「保護」が選べます。保護しているメッセージを選択すると「解除」が選択されます。未送信BOXには本体に保存されたライトメールを最大10件まで保護でき、10件に達していた場合、ディスプレイに「最大保護件数になりました」と表示され、本体内のライトメールをこれ以上保護設定にできません。

設定

定型文の編集、受信BOX・送信BOXなどのライトメールの使用状況確認、送達確認音の設定を行います。

定型文

メニュー⇒ メール⇒設定⇒定型文

定型文一覧には最大10件の定型文を保存でき、各定型文の本文は最大で全角45文字です。定型文がすでに10件以上保存されている場合は、新しい定型文の作成はできません。新しく作成したい場合は、10件の中からいづれかを削除して定型文を追加してください。

定型文一覧に何も保存されていない場合は、自動的に新しい定型文作成画面に移動します。操作については34ページの「ライトメール作成」を参照し、新しい定型文を作成してください。

ディスプレイに定型文一覧が表示され、マルチファンクションキー の上下で閲覧し、いずれかの定型文がカーソルで選択されている状態でOKキー を押すと定型文の詳細内容を表示できます。（表示中の操作については34ページの「ライトメール作成」をご参照ください）
また、ディスプレイに定型文一覧が表示されている時に、左ソフトキー （メニュー）を押すと以下の操作を行うことができます。

編集

選択中の定型文を編集します。操作については34ページの「ライトメール作成」をご参照ください。

削除

選択中の定型文を削除します。

メモリ状態

メニュー⇒ メール⇒設定⇒メモリ状態

受信BOX、送信BOX、未送信BOX、定型文に保存されたライトメールの件数とメモリーの使用状況のパーセンテージが表示され、マルチファンクションキー の上下で閲覧できます。

送達確認音

メニュー ⇒ メール⇒設定⇒送達確認音

メールが送信されたことを音でお知らせします。送達確認音を出す場合はONを選択します。
音声を出さない場合は、OFFを選択します。

通話履歴

メニュー⇒ 通話履歴

不在着信や着信及び発信の履歴とおおよその通話時間を記録します。
待受状態でマルチファンクションキー の上を押すと「通話履歴」メニューに移動できできます。

不在着信

メニュー ⇒ 通話履歴⇒不在着信

ディスプレイに最大30件の不在着信履歴が表示されます。30件に達していた場合、新しい不在着信履歴は自動的に一番古い不在着信履歴を上書きします。マルチファンクションキー の上下で履歴を確認して下さい。いずれかの不在着信履歴がカーソルで選択されているとき、その履歴の右側に ! マークが表示されている場合は、その電話番号からの着信が一度だけではないことを表します。OKキー を押してその履歴の詳細情報を表示すると、着信時刻の下に着信回数が表示されます。

■発信側の電話番号が電話帳に登録されている場合、不在着信履歴にその氏名が表示されます。発信側が電話番号非通知設定をしている場合、「番号非通知」と表示されます。
■本機はすべての番号非通知からの不在着信をひとつの不在着信履歴にまとめ、不在着信回数を累計して記録していきます。
■履歴を閲覧するとき通話キー を押すと履歴にある電話番号に電話をかけることができます。

いずれかの履歴がカーソルで選択されている状態で左ソフトキー （メニュー）を押すと、以下の操作を行うことができます。

表示

選択中の履歴の詳細情報を表示します。

電話番号取得

選択中の履歴の電話番号を取得します。ディスプレイにその不在着信の電話番号が表示されます。必要に応じて電話番号を編集（その電話番号に電話をかけることもできます）した後、左ソフトキー （保存）を押し、ディスプレイに表示される指示に従って操作を行い、編集した電話番号を電話帳に登録します。（30ページをご参照ください）選択中の履歴が「番号非通知」の場合は、電話番号を取得できません。

ライトメール作成

選択した電話番号がPHSの場合は、ライトメールをすることができます。34ページの「ライトメール作成」をご参照ください。選択中の履歴が「070以外の電話番号」の場合は、ライトメールを送信できません。

削除

選択中の不在着信履歴を削除します。

全件削除

すべての不在着信履歴を削除します。
不在着信一覧で、いずれかの履歴がカーソルで選択されている状態でOKキー を押すとその履歴の詳細情報が表示されます。
このときマルチファンクションキー の左右でその他の不在着信履歴の詳細を確認できます）、左ソフトキー （メニュー）を押すと**電話番号取得、ライトメールの送信**または**削除**を行うことができます。選択中の履歴が「番号非通知」の場合は、左ソフトキー （削除）を押して削除のみ行えます。

着信履歴

メニュー⇒ 通話履歴⇒着信履歴

着信履歴を最大30件まで記録します。30件に達した後に新しく着信があった場合は、自動的に一番古い着信履歴を上書きします。
この項目を選択した後の操作方法とメニューについては「不在着信」と同様なので、そちらをご参照ください。

発信履歴

メニュー ⇒ 通話履歴⇒発信履歴

発信履歴を最大30件まで記録します。30件に達した後に新しく発信があった場合は、自動的に一番古い発信履歴を上書きします。

この項目を選択した後の操作方法とメニューについては「不在着信」と同様なので、そちらをご参照ください。

通話時間

メニュー⇒ 通話履歴⇒通話時間

マルチファンクションキー の上下でラストコール、着信、発信及び全通話の各々の時間を確認できます。
左ソフトキー （リセット）を押すとディスプレイに「リセット？」と表示され、このとき左ソフトキー （確定）を押すと　通話時間を0にリセット出来ます。

お知らせ：本機が記録する通話時間はあくまで参考のためであり、実際の課金の根拠にはなりません。

音/バイブ設定

メニュー⇒ 音/バイブ

標準モード、マナーモード、カスタマイズモードの３種類があり、状況に合わせ選択ができます。必要に応じて着信音量、鳴動パターン、着信音などのサウンド設定を変更できます。（ただし、マナーモードはオン/オフのみで、詳細設定の変更はできません）

工場出荷時のデフォルト設定は「標準」モードです。この項目を選択すると、ディスプレイに現在使用中のモードが表示されます。

標準

メニュー ⇒音/バイブ⇒標準

標準を有効にする場合、左ソフトキー （確定）もしくはOKキー を押し、標準に設定し、再度左ソフトキー （確定）もしくはOKキー を押し決定します。
設定変更をする場合、左ソフトキー （確定）もしくはOKキー を押し、標準に設定し、再度左ソフトキー （確定）もしくはOKキー を押すことで、変更を有効にします。

設定を変更できる項目は以下のとおりです。

①**着信音量：**着信、ライトメールの受信およびアラーム通知音の音量を調整します。マルチファンクションキー の上下左右で1～5の5段階で調整し、左ソフトキー （確定）もしくはOKキー を押して決定します。

②**着信鳴動：**着信、アラームの通知方法を選択します。連続サウンド再生、バイブレーション（着信音はならず、振動のみ）、サウンドとバイブレーションを同時、振動とサウンドを交互、サイレント（すべてのサウンドとバイブレーションを停止）パターンを選択できます。

③**着信音：**着信音を選択できます。マルチファンクションキー の上下で固定データ、または録音着信音といった着信音のタイプを選択します。マルチファンクションキー の上下でいずれかの着信音を選択すると、カーソルで選択されている着信音をデモ再生するので、お好みの着信音が見つかった

ら左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して決定します。

④**メール鳴動：**新着ライトメールの通知方式を選択します。**着信音、バイブレーション、サウンド＋バイブレーション、サウンドなし**の4種類から選択し、左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して決定します。

⑤**メール着信音：**新着ライトメールの通知音を選択します。マルチファンクションキー の上下でいずれかの通知音を選択し、お好みの通知音が見つかったら、左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して決定します。

⑥**警告音種：**アラーム音を選択します。設定方法は「着信通知音」と同様です。

⑦**メモ通知音：**カレンダー通知音を選択します。設定方法は「着信通知音」と同様です。

⑧**キータッチ音：**キー操作時に鳴る音を選択します。**トーン 1、トーン 2** または**OFF**の3種類から選択できます。キー操作音が「サウンドなし」以外の場合は、キーを押すたびに本体から通知音がなります。

⑨**警告音：**警告音のオン、オフを設定します。警告音がオンの場合、通話の最中に本体がサービスエリアから出たり、サービスエリアが切り替わるときに警告音がなります。

⑩**起動音：**電源のオン/オフ時に鳴る通知音です。

⑪**内緒話：**ささやき通話機能のオン、オフを設定します。ささやき通話機能をオンにすると、声を抑えて話さなければならない状況で、小さな声でも相手にしっかりと伝わります。

マナー

メニュー⇒音/バイブ⇒マナー

このモードは会議など静かにしなければならない環境に適しています。待受状態で、 を長押しするとワンタッチで有効または無効にできます。（27ページをご参照ください）

カスタマイズ

メニュー ⇒音/バイブ⇒カスタマイズ

その他の環境に適したモードを自分で作成できます。操作方法とメニューは「標準」と同様です。オリジナルモードにはお好みの名称を設定できます。文字数は最大で全角 6 文字/半角12文字です。

設定

メニュー⇒ 設定

ここでは、本機の様々な設定を行うことができます。

日付と時刻

メニュー⇒ 設定⇒日付と時刻

以下の操作を選択できます。

日時

左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して、日時を表示します。実際の日付と時刻に従って日付（設定可能範囲は2011年1月1日～2049年12月31日）と時刻（設定可能範囲は00：00～23：59）を入力し、左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して決定します。入力中はマルチファンクションキー でカーソルを移動します。

お知らせ：入力した日付や時刻が設定可能な範囲内だった場合、カーソルは自動的に次の桁に移動します。入力したい日付と時刻が設定可能な範囲外だった場合、本機は自動的に設定可能範囲の最大値または最小値に設定します。また、マルチファンクションキー でカーソルを移動し、カーソルが選択している数字に変更を加えることができます。

時刻モード

左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して、時刻モードを表示し、マルチファンクションキー でカーソルを移動し、午前、午後のそれぞれ12時間で表示するか、24時間で表示するかを設定します。決定する場合は、左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押します。

時間表示

左ソフトキー（確定）もしくはOK キー を押して、日付と時刻のディスプレイへの表示オンまたはオフの設定画面を表示します。
オンにした場合には待受画面上に日時が表示された画面を表示するので、マルチファンクションキー で日時の位置を調整してください。位置を確定する場合は、左ソフトキー（確定）もしくはOK キー を押します。

画面設定

メニュー⇒ 設定⇒画面設定

画面設定では、以下の操作を行うことができます。

壁紙

画像を選択して待受画面の背景に設定できます

①左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押すと、ディスプレイに画像名称一覧が表示されます。

②マルチファンクションキー の上下で画像名称一覧を選択し、いずれかの画像がカーソルで選択されているときに左ソフトキー（表示）を押すと、画像のプレビューが表示されます。

③画像のプレビュー時に、マルチファンクションキー の上下で他の画像のプレビューを表示できます。右ソフトキー（戻る）を押すと画像名称一覧に戻ります。

④お好みの画像を見つけたら左ソフトキー（確定）を押すと設定が完了します。

テーマ

本機のテーマを3種類から選択できます。

ダイヤルフォント

待受画面から電話番号を入力するときのフォントに「初期フォント」または「カラーフォント」を選択できます。

起動メッセージ

起動中にディスプレイに表示するメッセージを編集できます。起動メッセージを入力し（最大で全角8文字、半角16文字）、左ソフトキー（確定）を押して決定します。
「挿入」ボタンを押して電話帳または定型文からお好みのメッセージを挿入することができます。

バックライト

マルチファンクションキー の上下で「省電力モード」（バックライトが最後の操作から5秒間点灯した後、半分の輝度で5秒間点灯し、消灯）または「通常モード」（バックライトが最後の操作から10秒間点灯した後、半分の輝度で10秒間点灯し、消灯）を選択し、左ソフトキー（確定）を押して決定します。

コントラスト

マルチファンクションキー でディスプレイの表示コントラストを調整し、最後に左ソフトキー（確定）を押して決定します。

通話設定

メニュー⇒ 設定⇒通話設定

通話設定では、以下の操作を行うことができます。

応答方式

マルチファンクションキー の上下で電話にでる方法を以下の2種類から選択できます。

①**応答キー受話：**着信があったとき、通話キー または左ソフトキー（通話）を押すと電話に出ることができます。

②**任意のキー受話：**着信があったとき、電源キー、右ソフトキー、(ミュート)以外のいずれかのキーを押すと電話にでることができます。
左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押し、上記の設定を決定します。

着信禁止タイム

邪魔されたくない時間帯とその周期を設定できます。プライベートタイムを設定すると、設定した時間帯は着信しなくなります。設定方法は以下のとおりです。

①**繰り返し設定：**マルチファンクションキー の上下で設定欄を選択し、マルチファンクションキー の左右を押して「OFF」（この機能を使用しない）、「土日」（土曜日と日曜日）または「毎日」を選択します。

②**時間帯設定：**マルチファンクションキー の上下で編集欄を選択し、開始時刻（向かって左）と終了時刻（向かって右）を入力します。（二つの時刻は異なり、終了時刻は開始時刻よりも後である必要があります）入力中はマルチファンクションキー の左右でカーソルを移動できます。

③最後に左ソフトキー（確定）を押して設定を完了します。

④時間が正しく入力できていないとエラーメッセージがでます。時間を正しく設定してください。

通知不可能拒否

①マルチファンクションキー の上下で機能のオンオフを選択します。入力後にパスワードを入力します。暗証番号設定は52ページを参照してください。

②最後に左ソフトキー （確定）もしくはOKキー を押して設定を完了します。

発信者番号非通知

電話番号の通知／非通知を指定して電話をかけることができます。

①マルチファンクションキー の上下で機能のオンオフを選択します。

②最後に左ソフトキー （確定）もしくはOKキー を押して設定を完了します。

端末設定

メニュー⇒ 設定⇒端末設定

端末設定では、以下の操作を行うことができます。

自番号

自番号が確認できます。
メニュー画面から０を押す方法でも自番号が確認できます。

言語

ディスプレイに表示される言語を、ご自分の使用環境に合わせて選択できます。
マルチファンクションキー の上下で「日本語」または「English」を選択し、左ソフトキー （確定）もしくはOKキー を押して設定を完了します。

自動キーロック

自動キーロック機能をオンまたはオフに設定できます。この機能をオンにすると、待受状態でバックライトが消灯するときに、キー操作も自動的にロックされるようになります。左ソフトキー （確定）もしくはOKキー を押して設定を完了します。

オートパワー

マルチファンクションキー の上下で「自動電源ON」または「自動電源OFF」を選択し、左ソフトキー （確定）を押すと、ディスプレイに自動電源オン/オフ設定の画面が表示されます。

①マルチファンクションキー の左右でON/OFFの項目を選択します。

②マルチファンクションキー の上下で時刻設定欄を選択し、自動電源ONと自動電源OFFを行う時刻（設定可能範囲は00：00～23：59で、自動電源ONと自動電源OFFの時刻は異なる必要があります）を編集します。

③最後に左ソフトキー （確定）を押して、操作を完了します。

■自動電源オン機能を有効にすると、指定した時刻になると本体電源が自動的にONになります。
■自動電源OFF機能を有効にすると、指定した時刻の30秒前になると新しいイベント（キー操作を含む）がないか確認し、なければ指定した時刻に自動的に電源をオフにします。新しいイベント（電話に出たり、ライトメールを受信したりなど）が発生し、それが中断できない場合はそれらのイベントが終了するのを待ち、そのとき、自動電源オフ時刻を過ぎていた場合、自動電源オフ設定は取り消され、あとで自動電源オフが行われることはありません。
■自動電源オフが始まるとそれを中断することはできません。必要な場合は自動電源オフが完了した後に、再度電源を入れてください。

パスワード

セキュリティのために、本体パスワードを設定することで情報を保護できます。ここでは以下の操作を行うことができます。

①**電源ON保護：**起動時の保護機能のオン／オフを選択し、左ソフトキー（確定）もしくはOKキーを押すとパスワードの入力を求めてきます。本体パスワードを正しく入力した後、左ソフトキー（確定）もしくはOKキーを押して設定を完了します。

■本体パスワードの工場出荷時の設定は888888です。
■この機能を有効にすると、電源をオンにするたびに本体パスワードを正しく入力することを求められます。

②パスワードの変更：現在の本体パスワード入力が求められ、本体パスワードを正しく入力したあとに左ソフトキー（確定）もしくはOKキーを押すと、ディスプレイに本体パスワード変更画面が表示されます。ディスプレイに表示される指示に従って新しい本体パスワードを新しいパスワードの欄に入力し、確認作業（新しい本体パスワードをパスワード確認の欄に再入力）を行った後、左ソフトキー（確定）もしくはOKキーを押して操作を完了します。

お知らせ：
■新しいパスワードの欄とパスワード確認の欄に入力した本体パスワードは必ず一致していなければなりません。
■本機を問題なくご利用にいただくために、変更後の本体パスワードを忘れないようご注意ください。パスワードを忘れた場合はユーティースターコムサポートセンターにお問い合わせください。

完全消去＋初期化

このメニューを選択するとディスプレイに「実施しますか」と表示されるので、左ソフトキー（確定）もしくはOKキーを押し、ディスプレイに表示される指示に従って本体パスワードを入力し、最後に左ソフトキー（確定）もしくはOKキーを押して設定を完了します。

注意：本機のモード設定や機能設定等すべてが工場出荷時設定にリセットされるので、十分にお気を付けください。

安全運転設定

メニュー⇒設定⇒安全運転設定

安全運転設定での各設定を行います。

お知らせ：
■安全運転モードのネットワーク応答/録音には留守番電話サービスへの加入が必要です。
■留守番電話サービスへの加入はあらかじめウィルコムへのお申し込みが必要です。

①**応答方式：**安全運転設定中に電話があった場合の応答を、ネットワーク応答にするか端末応答にするか設定できます。
マルチファンクションキーの上下で「ネットワーク応答」または「端末応答」を選択し、左ソフトキー（確定）を押すと、各設定が安全運転設定時に有効となります。

②ネットワーク応答の場合にはネットワーク側から発信者に対して運転中であることをお知らせします。

③端末応答の場合には端末側から発信者に対して運転中であることをお知らせし、3件までメッセージを録音することができます。
メッセージはメニューの「レコーダ」の「録音データ」に保存されます。再生方法は67ページを参照してください。

録音されたメッセージがある場合は、待受け画面でアイコンが表示されます。
「録音データ」中に3件の録音データがある場合、新規メッセージを「録音データ」に保存できません。その場合、発信者に対して運転中であることをお知らせのみ行います。

④**ボイスメール：**ネットワーク応答を選択した場合、ボイスメールを有効にすると、安全運転設定時に発信者からのメッセージを録音することができます。
マルチファンクションキーの上下で「ON」を選択し、左ソフトキー（確定）を押すと、ボイスメール機能が安全運転設定時に有効となります。「OFF」を選択した場合、ボイスメール機能が無効になります。

リモート設定

メニュー⇒設定⇒リモート設定

本機を紛失した場合などに、他の電話機から操作して、ロックをかけたり登録データを消去できます。

パスワード

リモートロックを起動させるリモートロックパスワードを設定します。
左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して、パスワード設定画面を呼び出します。本機の６桁のパスワードを入力します。
任意の４から８桁のパスワードを新しいパスワード欄に入力します。マルチファンクションキー の下を押して、パスワード確認欄に新しいパスワード欄で入力したパスワードと同じパスワードを入力します。正しく設定できれば「設定しました」とメッセージが現れます。パスワードが間違っている場合は、「パスワードが違います」というメッセージが現れます。

メールロック

他のPHS電話機からリモートロックパスワードをライトメールで送信して、リモートロックの起動と解除を行う設定をします。
左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して、メールロック設定画面を呼び出します。マルチファンクションキー の上下操作で、メールロック設定する場合は「ON」に、設定しない場合は「OFF」にカーソルを合わせます。
左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押すとパスワード入力画面が現れます。本機の６桁のパスワードを入力します。パスワードが正しく入力できたら、左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押します。正しく設定できれば「設定しました」とメッセージが現れます。パスワードが間違っている場合は、「パスワードエラー」というメッセージが現れます。

着信ロック

他のPHS電話機からリモートロックパスワードを電話番号と一緒に発信して、リモートロックの起動と解除を行う設定をします。
左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して、着信ロック設定画面を呼び出します。マルチファンクションキー の上下操作で、着信ロック設定する場合は「ON」に、設定しない場合は「OFF」にカーソルを合わせます。
左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押すとパスワード入力画面が現れます。本機の６桁のパスワードを入力します。パスワードが正しく入力できたら、左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押します。正しく設定できれば「設定しました」とメッセージが現れます。パスワードが間違っている場合は、「パスワードエラー」というメッセージが現れます。

メールアクセス番号

リモートロックの起動と解除を行うことのできる２件までのライトメールアドレスを事前に本機に設定することができます。
左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して、メールアクセス番号設定画面を呼び出します。マルチファンクションキー の上下操作で、メール番号１にカーソルを合わせます。
左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押すとパスワード入力画面が現れます。本機の６桁のパスワードを入力します。パスワードが正しく入力できたら、メールアドレス（番号）を入力します。左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押します。「設定しました」とメッセージが現れます。
メール番号２を設定したい場合は、上記と同じ方法で設定してください。

着信アクセス番号

リモートロックの起動と解除を行うことのできる２件までの電話番号を事前に本機に設定することができます。
左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して、メールアクセス番号設定画面を呼び出します。マルチファンクションキー の上下操作で、着信番号１にカーソルを合わせます。
左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押すとパスワード入力画面が現れます。本機の６桁のパスワードを入力します。パスワードが正しく入力できたら、メールアドレス（番号）を入力します。左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押します。「設定しました」とメッセージが現れます。
着信番号２を設定したい場合は、上記と同じ方法で設定してください。

ライトメールからリモート設定を操作する方法

①PHS電話機でライトメール作成します。

②送信先に本機の電話番号を入力します。
⑴ロックしたときは本文中に**ソウサ1**××××××××と入力してください。
⑵**××××××××**はリモートロックパスワードになります。
⑶リモートロックを解除したいときは本文中に**ソウサ0**××××××××（**リモートロックパスワード**）と入力してください。
⑷リモートロックと合わせてデータ消去したいときは本文中に**ソウサ3**××××××××（**リモートロックパスワード**）と入力してください。

③ライトメールを送信します。

電話機から電話してリモート設定を操作する方法

PHS電話機から以下の操作をおこなってください。

①リモートロックしたい場合
「本電話機の番号　サブアドレス指定ダイヤル＊01　リモートロックパスワード」の順にダイヤルします。

②リモートロックと合わせてデータ消去したい場合
「本電話機の番号　サブアドレス指定ダイヤル＊03　リモートロックパスワード」の順にダイヤルします。

③リモートロックを解除したい場合
「本電話機の番号　サブアドレス指定ダイヤル＊00　リモートロックパスワード」の順にダイヤルします。

上記のそれぞれの設定が成功した場合、「ツー」音が聞こえ約2秒後に電話が切れます。

注意：
■リモートロックを行う場合、リモートロックパスワードの設定が必要です。
リモートロックパスワードを忘れないようご注意ください。
■本機が電波の届かない圏外にある場合や、電源が入っていない場合はリモートロックは使用できません。
■リモートロック設定中に電源をOFFにしたり、バッテリーを外したりしても、リモートロックは解除されません。
■リモートロックでデータ消去した場合、リモートロックを解除してもデータは復旧できません。
■非通知の場合、リモートロックを起動できません。
■データ消去を実行した場合は、データは工場出荷時と同じ状態になります。
但し、データ等は消去となり、工場出荷時になりますが、リモート設定時のパスワード等は、そのままの状態となります。

ツール

メニュー ⇒ ツール

ツールでは、便利な各種ツールが利用できます。

アラーム時計

メニュー⇒ ツール ⇒ アラーム時計

本機には3つのアラームと、電源オフアラーム機能があります。電源オフアラーム機能を有効にすると、本体の電源がオフであってもアラーム設定時刻になるとアラームが鳴ります。

お知らせ：「電源OFFアラーム」の項目では、マルチファンクションキー の上下で「ON」または「OFF」を選択し、左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して設定を完了します。

以下の操作でアラーム1、アラーム2、アラーム3の設定を行うことができます。

①マルチファンクションキー の上下でいずれかのアラームを選択し、左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して設定します。

②マルチファンクションキー の左右で「OFF」（アラームオフ）、「一度」（アラームをオンにしてから24時間以内に一度だけアラームが鳴ります）、「毎日」（毎日指定した時刻になるとアラームが鳴ります）または「平日」（毎週月曜日～金曜日に指定した時刻になるとアラームが鳴ります）を選択します。

③マルチファンクションキー の上下で時刻設定欄にカーソルを移動し、アラームを鳴らす時刻を入力します。マルチファンクションキー の左右でカーソルを移動できます。

④マルチファンクションキー の上下で「スヌーズモード」の項目にカーソルを移動し、マルチファンクションキー の左右で「ON」または「OFF」を選択します。

⑤最後に左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押して設定を完了します。

■いずれかのアラームがオンになっていると、待受画面の上部に マークが表示されます。指定時刻になるとアラームが鳴ります。アラーム音はモード設定の警告音種の設定の影響を受けます。

■スヌーズモードをオンにすると、指定時刻になると5分ごとにアラームが鳴り、それが3回繰り返されます。

カレンダー

メニュー⇒ ツール⇒カレンダー

日時設定で本機に設定されている日付を含む、その月の西暦カレンダーがディスプレイに表示されます。赤く囲まれた枠は本機に設定されている日付、緑色で塗られた枠は現在カーソルが指している日付、黄色く塗られた枠は予定が登録されている日付です。マルチファンクションキー でカーソルを移動すると、1901年1月1日～2049年12月31日までのカレンダー情報を閲覧できます。

予定が登録されている日付にカーソルを移動させてOKキー を押すと、その日付のすべての予定を確認できます。各予定の先頭に表示されているアイコンはその予定の通知設定を表します。 はその予定の日時がすでに過ぎていることを表します。 はその予定の日時がまだ過ぎていないことを表します。 はその予定を通知しない設定になっていることを表します。

いずれかの日付がカーソルで選択されているときに左ソフトキー（メニュー）もしくはOKキー を押すと、以下の操作を行うことができます。

今日のメモ

当日のすべての予定を確認できます。当日に予定が無い場合はディスプレイに「記録無し」と表示されます。
ディスプレイに予定一覧が表示されているとき、マルチファンクションキー の上下で閲覧し、いずれかの予定がカーソルで選択されているときにOKキー を押すとイベントの詳細な内容を確認することでき、左ソフトキー（確定）もしくはOKキー を押すと以下の操作を行うことができます。

①**表示：**選択中の予定の詳細内容を表示します。予定の詳細を表示しているとき、左ソフトキー（メニュー）を押すと修正、消去、移動、コピーの操作を選択できます。

②**修正：**選択中の予定の内容、時刻やオン/オフの状態を修正します。（新規追加をご参照ください。）

③**削除：**選択中の予定を削除します。

④**全件削除：**当日の予定をすべて削除します。

⑤**新規追加：**その日に新しい予定を1件追加します。

⑥**移動：**当日の予定の日付・時刻を修正すると、その予定の内容が特定の日付・時刻に移動します。

⑦**コピー：**予定を別の日付または時刻にコピーします。

新規追加

予定を作成できます。方法は以下のとおりです。

①マルチファンクションキーの上下左右で日時設定欄を選択し、予定の日付と時刻を入力します。入力中はマルチファンクションキーでカーソルを移動できます。

②マルチファンクションキーの上下で予定の内容編集欄を選択し、左ソフトキー（編集）を押すと内容編集画面（ライトメールの編集画面と同じようなもの）が表示されます。予定の具体的な内容を入力し、左ソフトキー（保存）を押すと予定追加画面に戻ります。
また編集画面でOKキー（挿入）を押すと、電話帳か定型文をコピーできます。

③マルチファンクションキーの上下でON/OFF設定欄を選択し、マルチファンクションキーの左右で「ON」または「OFF」を選択します。

④最後に左ソフトキー（確定）もしくはOKキーを押して操作を完了します。

全てのメモ

カレンダー表のすべての予定をチェックできます。具体的な操作については63ページの「今日のメモ」を参照してください。

日付選択

確認したい西暦の日付を入力して左ソフトキー（確定）もしくはOKキーを押すと、その日付を含む月のカレンダーがディスプレイに表示されます。
■選択可能な日付の範囲は2011年1月1日から2049年12月31日までの間です。

電卓

メニュー⇒ ツール ⇒ 電卓

本機の電卓は簡単な四則演算ができます。使用方法は以下のとおりです。

①入力ダイアログには「0」が表示されているので、数字キーを押してひとつめの計算したい数値を入力してください。*を押すとマイナス記号を、#を押すと小数点を入力できます。

②演算記号を入力します。マルチファンクションキーの上下左右がそれぞれ加算、減算、乗算、除算に対応しています。

③ふたつめの計算したい数値（マイナス記号は入力できません）を入力します。#と0を押すと0を入力でき、ディスプレイには「0.0」と表示されます。

④最後にOKキーを押すと計算結果が表示されます。この結果に対して手順②～③を繰り返すことで続けて計算できます。左ソフトキー（リセット）を押すと計算結果をリセットして新しく計算を始めることができます。

お知らせ：
■数字と演算記号を入力するとき、右ソフトキー（クリア）を押すと直前に入力した文字を削除できます。
■5を0.0で割る、などのように入力した数値と演算記号が演算規則に反する場合、ディスプレイには「エラー」と表示され、計算を行うことができません。また、計算結果の絶対値が999999999を超える場合、

ディスプレイに「オーバーフロー」と表示され、計算結果を得ることはできません。
■ 画面上に9桁以上の数値を入力できますが、計算はできません。

レコーダ

メニュー⇒ ツール ⇒ レコーダ

本機にはレコーダ機能があり、全部で3件、1件につき最長30秒間録音できます。（通話中のレコーダの使用では最長25秒です。）

録音開始

左ソフトキー（確定）もしくはOKキーを押すと録音が始まり、ディスプレイには録音のプログレスバーと録音時間/録音可能時間が表示されます。
録音中に左ソフトキー（停止）を押すかまたは30秒間録音した後で、左ソフトキー（保存）を押すと録音データを保存します。
OKキー（再生）を押すとその録音データを再生（再生中にマルチファンクションキーの左右で音量調節、左ソフトキーでポーズ/再生）、右ソフトキー（戻る）を押すとその前のメニューに戻ります。
録音した音声を保存・再生・取消の中から選択してください。

お知らせ：
■録音時間が「0」の録音データは保存できません。保存される録音データのデフォルトの名称は録音時の時刻です。
■録音データが3件のとき録音を開始すると、録音データを上書きする旨が表示されるので左ソフトキー（確定）を押し、マルチファンクションキーの上下でいずれかの録音データを選択してから左ソフトキー（確定）を押すと、新しく録音を開始します。
■着信、アラーム、カレンダー通知、電池残量低下の警告と自動電源オフなどのイベント発生時は録音及び録音データの再生を中断します。このとき録音中だったデータは自動的に保存されます。

録音データ

ディスプレイに録音データが表示されます。マルチファンクションキーの上下で閲覧し、いずれかの録音データがカーソルで選択されているときに左ソフトキー（メニュー）を押すと以下の操作を選択できます。

①**着信音に設定：**選択中の録音データを着信音に設定します。

②**削除：**選択中の録音データを削除します。

③**リネーム：**選択中の録音データの名前を変更します。

④**プロパティ：**選択中の録音データの名前、サイズ、録音時間を表示します。

⑤**全件削除：**すべての録音データを削除します。

録音データがカーソルで選択されているときにOKキー（再生）を押すと、その録音データを再生できます。
再生中はマルチファンクションキーの左右で音量調整、左ソフトキーを押すとポーズ/再生のコントロール、右ソフトキー（戻る）を押すと再生を終了できます。

再生音量

マルチファンクションキーの上下で再生音量を音量大・小で選択します。
左ソフトキー（確定）もしくはOKキーを押すと決定されます。

世界時計

メニュー⇒ ツール ⇒ 世界時計

本機に設定されている日時に対応する世界主要都市の日付と時刻を表示できます。表示するとき、マルチファンクションキーの左右でタイムゾーンを切り替え、マルチファンクションキーの上下で同一タイムゾーンにある主要都市を切り替えます。左ソフトキー（指定）を押すと、本機をそのローカル設定時間にするかを確認するメッセージが表示されます。再度左ソフトキー（確定）を押すと、選択中のタイムゾーンを本機のタイムゾーンとして設定します。

製品のメンテナンスと故障診断

製品のメンテナンス

本製品は精密機器ですので、取り扱いには十分ご注意ください。以下は、本製品を長く安全にご利用いただくためのアドバイスです。

■本体およびその付属品は幼児の手の届かない場所に置いてください。

■本製品は乾燥した状態を保ってください。雨水、湿気および鉱物を含む液体は電子回路を腐食させる恐れがあります。

■本製品を高温になる場所や、極端に低温になる場所に置かないでください。

■故障の原因となるので、自分で本製品を分解しないでください。

■故障の原因となるので、本製品を投げつけたり打ち付けたり強い振動を与えるなど手荒に扱わないでください。

■筐体が破損する恐れがあるので、ベンゼンや希釈剤またはガソリンなどの溶剤で本機のクリーニングをしないでください。柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量とり、クリーニングを行ったあと綺麗に拭きとってください。

■塗料を製品に塗布しないでください。取り外しできる部品が固定されるなどして、正常な操作の妨げとなる恐れがあります。

故障の診断

不具合の内容	故障の原因と対処
電源が入らない	・電池が装着されているか確認してください。 ・電池が空でないことを確認してください。 ・電源を入れるときに を2秒以上長押ししているか確認してください。
充電できない（充電時に、ディスプレイの右上の電池マークが点滅しない）	・充電器、本製品が正しく接続されているか確認してください。 ・電池が正しく装着されているか確認してください。 ・付属の充電器と電池を使用しているか確認してください。
着信時に音が鳴らない	・マナーモードになっていないか確認してください。なっている場合は、マナーモードを解除してください。（27ページをご参照ください） ・鳴動パターンが「ミュート」になっていないか確認してください。なっている場合は、他の鳴動パターンを選択してください。（47ページをご参照ください）
通話中に大きな騒音が聞こえたり、通話が断絶することがある	・周辺に信号を遮断したり吸収したりする物体がないか確認して下さい。ある場合は、場所を移動してから通話を行ってください。 ・高速移動中に通信を行っていないか確認してください。その場合は、速度を下げるか移動を停止してください。

上記以外の故障や、上記の対処方法を試したが症状が改善されなかった場合はユーティースターコムサポートセンター（0120-053-045）までご連絡ください。

お問合せ先

以下のような内容は、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

●ご契約内容

●月額料金・通話料等

●オプションサービス

●サービスエリア

●本電話機の紛失

●その他、通信サービスについて

ウィルコムサービスセンター

受付時間	9:00 から 20:00（年中無休）
ウィルコムの電話機から	116（無料）
一般加入電話・公衆電話から	0120-921-156（無料）

携帯電話・PHS からもかけられます。

ユーティースターコムサポートセンター

本電話機に関するご相談・お問合せ先

受付時間	10:00 から 18:00 月曜から金曜（祝日・祭日休業を除く）
電話番号	0120-053-045（無料）

＜保証規定＞

1．本商品は修理対応ができません。交換対応となります。

2．取扱説明書、本体ラベル等に示された注意書、充電器の警告表示・電池の警告表示などに従い正常な使用状態で故障した場合には、保証期間内に限り交換対応いたします。

3．保証期間内でも次のような場合には有償交換となります。（または、同機種への交換ができない場合があります）

3-1 取扱説明書・本体ラベル等に示された注意書、充電器の警告表示・電池の警告表示などに従った正しい使用がなされなかった場合

3-2 不当な修理や改造（外観の改造も含む）による故障や損傷の場合

3-3 使用上、取扱上の過失または事故による故障や損傷の場合

3-4 落下や、接触による故障や損傷がある場合(痕跡がある場合も含む)

3-5 雨や水、液状のもので濡らしてしまったり、水没による故障や損傷、水濡れや湿気等の痕跡がある場合

3-6 火災・地震・落雷・風水害・異常電圧・公害・塩害・ガス害及びその他天災地変などによる故障や損傷の場合

3-7 指定外の使用電源や指定外の充電器を利用した場合

3-8 本保証書のご提示がない場合

3-9 本保証書に不備がある場合（購入年月日・製造番号・お客様名・販売店名の記入なし。書き換えられた場合）

3-10 消耗品（バッテリー等）の交換の場合

4．状況により同じ製品への交換ができない場合があります。

5．お客様のご指定場所での交換対応はできません。

6．本商品の故障に起因する間接的・付随的損害(事業利益損失・事業中断・記憶内容変化・消失など）に関して、一切の責任を負いません。

7．当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害や事故は補償および責任はありません。

8．本保証書は再発行いたしません。

9．個人情報保護の観点から、交換の場合に、お客様ご自身で登録された記憶内容を削除していただきます。個人情報が残っていた場合、交換に応じることができない場合があります。

交換の場合、登録された記憶内容や各種設定情報が変化・消失するおそれがあります。記憶内容や各種設定情報は別にメモに取るなど必ずお控えください。記憶内容や各種設定情報が変化・消失したことによる損害や損失などの請求につきましては、一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

本保証書は、本書に明示した期間、条件のもとで、交換をお約束するものです。したがって、本書によって保証書を発行している者(保証責任者)及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証書

<table>
<tr><td colspan="2">製品名称　　　WX01UT</td></tr>
<tr><td>製造番号</td><td>お買い上げ日
年　　月　　日</td></tr>
<tr><td colspan="2">保証期間　　　お買い上げ日から 1 年間</td></tr>
<tr><td colspan="2">販売店名</td></tr>
<tr><td colspan="2">お名前</td></tr>
<tr><td colspan="2">ご住所</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話番号</td></tr>
<tr><td colspan="2">保証規定については裏面を参照してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ユーティースターコムジャパン株式会社
〒 105-0011 東京都港区芝公園 2 − 6 − 3 芝公園フロントタワー
www.utstar.co.jp</td></tr>
<tr><td colspan="2">●欄に記入のない保証書、販売店の印のない保証書は無効となりますのでご注意ください。
●サービス、製品などに関するお問い合わせは、下記窓口へご連絡ください。
●ウィルコムのサービス、ご契約等に関するお問い合わせ
ウィルコムサービスセンター局番なしの 116（本電話機から）
9:00 ～ 20:00（年中無休）0120-921-156（一般加入電話・公衆電話・携帯電話）
●本製品に関するお問い合わせ
ユーティースターコムサポートセンター
10:00 ～ 18:00　月曜から金曜（祝日・祭日を除く）
0120-053045　（一般加入電話・公衆電話・携帯電話）</td></tr>
</table>